

Contents

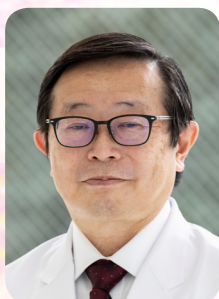
- ・ 病院長新年のご挨拶
- ・ ペインクリニック外来開設
- ・ 診療科紹介
- ・ 第7回医療連携フォーラムご報告
- ・ 2023年度第6回がんと共に
すこやかに生きる講演会・患者交流会
- ・ 年末年始の診療記録



編集：杏林大学医学部附属病院
〒181-8611 三鷹市新川 6-20-2
Tel 0422-47-5511(代表)



新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

今年は4月から「医師の働き方改革」が始まり各医療機関も対応に追われておられると思いますが、特に大学病院においては時間外労働の制限を含めた勤怠管理など様々な改革が求められております。地域医療サービスへの影響も懸念されていますが、我々としては地域の医療機関の皆様との連携をより一層推進し、患者さんのために急性期診療機能の向上を継続していきたいと考えております。そのために、今まで以上に顔の見える関係の構築を進めたいと思っておりますが、さらに

DXを活用した紹介・連携システムも導入してまいります。また、4月からは杏林大学医学部附属杉並病院がスタートします。この新しい分院としっかりタッグを組んで「あたたかい心のかよう、良質な医療を患者さんに提供」するという理念を実践してまいります。

皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

病院長 近藤晴彦

ペインクリニック外来を開設

麻酔科では、ペインクリニック専門医による「ペインクリニック外来」を2023年12月に開設しました。

痛み治療に難渋されている患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介いただければ幸いです。

ペインクリニックでは主に、急性期が過ぎても持続する異常な痛みを慢性痛と捉えて治療します。急性期の痛みは、外傷や手術といった原因がはっきりしており、原因疾患の治療によって通常消失します。一方慢性痛は、その治療期間を過ぎても続く異常な痛みで、原因が不明のこともあります。人は痛みを晒され続けると、痛みが増大し、痛覚過敏や触れただけでも痛みを感じる異常感覚（アロデニア）を呈することもあります。また精神活動の悪循環も生じ、うつ病や認知症を発症することもあります。こうした悪循環を断つこともペインクリニックの役割です。治療は、神経ブロックを応用した治療や薬物療法、漢方治療、運動、ストレッチの指導などを行っています。

◇ 診療時間：月曜日、水曜日、金曜日 各曜日午前〔完全予約制〕

◇ 対象となる疾患

頭痛疾患：片頭痛、群発頭痛、緊張型頭痛

顔面痛：三叉神経痛、舌咽神経痛

脊椎疾患：椎間板ヘルニア、頸椎症、椎間関節症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間関節症

外傷性疾患：外傷性頸部症候群（むちうち）、幻肢痛

筋骨格系疾患：筋筋膜痛症候群、変形性関節症、凍結肩、腱板断裂

血管性疾患：閉塞性動脈硬化症

神経障害痛：帯状疱疹後神経痛、糖尿病性神経障害

難治性痛：複合性局所疼痛症候群、遷延性術後痛、会陰部痛

癌性疼痛

痛みを呈さない疾患：顔面神経麻痺、顔面痙攣、突発性難聴、メニエル病



診療科紹介

■ ■ ■ 心臓血管外科 ■ ■ ■

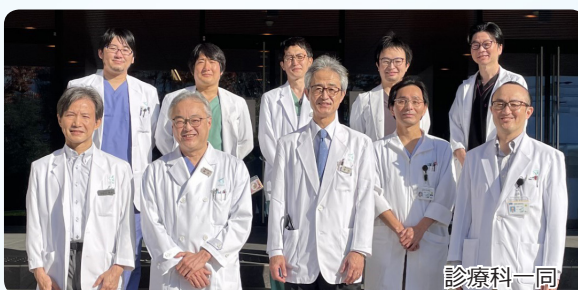
当科は、心臓・胸部大動脈外科と腹部・末梢血管外科の2チームで構成されています。循環器単独疾患のみならず、高度な医療を必要とする併存疾患を持つ循環器疾患に対しても関係部門、診療科と連携を取り最善の治療を提供しています。また東京都急性大動脈スーパーネットワークにおける重点施設として緊急症例に対応しています。

虚血性心疾患に対しては心拍動人工心肺使用下での冠動脈バイパス術、弁膜症に対しては弁形成術や低侵襲心臓手術（MICS）、大動脈疾患に対してはステントグラフト内挿術等の体に優しい低侵襲医療の提供に努めています。手術成績の向上に伴い、高リスク症例、80歳以上の高齢者に対しても積極的な外科治療を行っております。

末梢動脈外科では腹部大動脈瘤置換術やステントグラフト内挿入術、閉塞性動脈硬化症に対するバイパス術や血管内治療等の低侵襲治療も提供しています。透析導入に際するシャント造設、人工血管移植、永久留置カテーテル挿入やシャント狭窄に対するバルン拡張も施行しております。これからも「広い分野、最新の技術、均質で安全な医療の提供」をモットーに地域医療の向上に精進してまいりますので宜しくお願いいたします。



診療科長・教授 窪田 博
専門：成人心臓・胸部大動脈外科



診療科一同

第7回 杏林大学医学部附属病院 医療連携フォーラム報告

当院では地域の医療従事者の皆様との連携をより一層深めるために、医療連携フォーラムを開催しています。2023年11月9日（木）には、7回目となる会が4年ぶりに対面で開催されました。診療科紹介などの第1部の後には、外来棟6階のレストラン「ガーデンテラス日比谷松本楼」で情報交換会が開かれ、地域の医療従事者を含めたおよそ120人がリラックスした雰囲気の中で意見交換を行いました。ご参加いただいた皆さまに心から御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

プログラム

第1部 講演会

- ①病院長挨拶 ②来賓挨拶（三鷹市医師会 会長 内原正勝氏） ③患者支援センター紹介
④診療科紹介 1. 腫瘍内科における最新の癌治療（腫瘍内科 教授 廣中秀一）
2. CKD 対策の現状と診療連携の重要性（腎臓・リウマチ膠原病内科 教授 要 伸也）

第2部 情報交換会



2023年度第6回

がんと共にすこやかに生きる 講演会・患者交流会

当院がんセンターでは、定期的のがん患者の方や一般市民向けに講演会を開催しています。

がん患者の方同士の交流会も行いますので、ご参加をお待ちしています。

日程：2月24日（土）13時～15時15分

会場：杏林大学医学部附属病院 大学院講堂（第2病棟4階）

第1部：講演会「がんとこころ」、地域の患者会の紹介

第2部：がん患者さん同士の交流会

参加費無料、事前予約制

申込み等詳細：当院 HP「お知らせ」参照

申込期限：2月21日（水）



年末年始の診療記録 [12月28日夕方～1月4日朝まで]

患者数	817人 (内3次救急・ドクターヘリ計28人)
救急車台数	107件 (内3次救急・ドクターヘリ計28人)



(内訳1・2次救急のみ)

診療科	救急総合	内科系	外科系	精神神経科	小児科	脳神経外科	心臓血管外科	整形外科
患者数	247	69	16	3	124	15	1	51
診療科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	産婦人科	SCU	放射線治療科
患者数	19	74	15	57	38	19	5	36